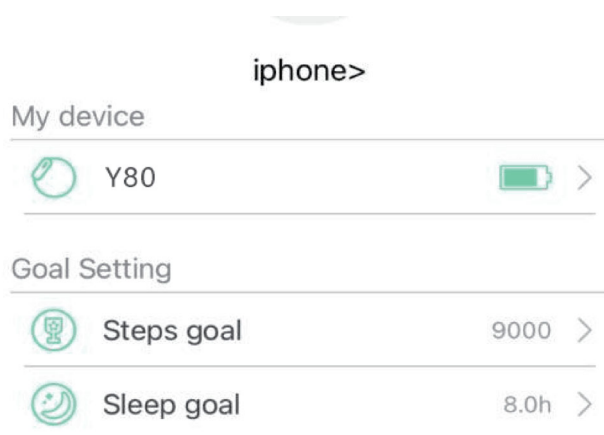


2. 時計と携帯電話のバインディング接続

1. APP connect Y25:

携帯電話のBluetoothをオンにし、APPページで「Mine」を入力し、「Device」を探し、接続するデバイスの名前「Y25」をクリックします。接続するY25を選択し、位置情報へのアクセスを許可してください、近くに複数のデバイスがある場合は、時計のMACアドレスに応じてフィルタリングしてください、MACアドレスは時計の設定機能のデバイスについてで見ることができます。

ヒント：APPが時計にリンクされている場合、時計が通話やスピーカーとして使用できるようになる前に、電話設定内のBluetoothを開き、Bluetoothリスト内のY25を見つけて接続する必要があります。



という記号が左上に表示されます：
 ,  マークが表示された場合は、接続に成功していないことを意味します。

2. 接続時の注意点

- ① Bluetoothがオンになっている
- ② 時計に十分な電力を供給する
- ③ スマートフォンと時計を接続する際は、50cm以内に設置してください。スマートフォンのアプリで時計が見つからない場合は、スマートフォンの設定でH Bandソフトウェアのすべての権限を開放してください。

FAQ:

接続中にデバイスが見つからなかった？

1. スマートフォンのBluetoothがオンになっていること、スマートフォンのOSがAndroid 4.4以上、またはIOS 8.0以上であることを確認してください。
2. スマートフォンとデバイスの距離が0.5m以下であることを確認してください。接続後は、有効範囲内（通常10m以内）でご使用ください。
- 3: デバイスに十分な電力が供給されていることを確認してください。充電しても問題がある場合は、お気軽にお問い合わせください。

3. 外観

① 各部の名称



注：データが有効であることを確認するために、APPの個人データに実際の性別、身長体重、肌の色を入力してください。

4. 機能紹介

(1) インターフェース



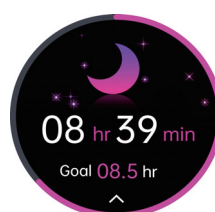
メイン
インター
フェース



ステップ
カウント



活動内
容



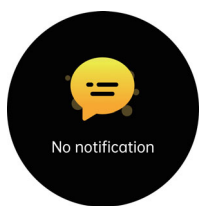
スリー
プ



心拍数



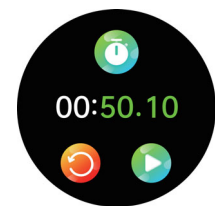
音楽



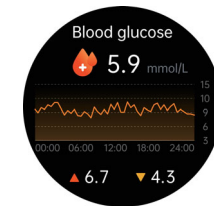
情報リマ
インド



カウン
トダウン



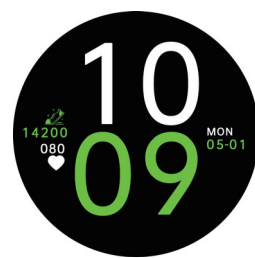
ストップ
ウォッチ



血糖値検査

セットアップ・インターフェース

時計とAPPが正しく接続されていることを確認してください。APPを入力し、[マイデバイス-Y25-ダイヤル設定-対応するスタイルを選択する]をクリックすると、時計の画面に交換が成功したことが表示されます。



画面操作：
上下左右にスライドさせる



(2) 画面ドロップダウンのインターフェース機能紹介

Do-not-disturbモード

電話を探す



コミュニケーション

セッティング

デバイス情報

(3) オン / オフ

つくこと：装置が状態を離れてあるとき、それをつけ、時間インターフェイスを書き入れる 4 秒のためのキー・ボタンを長く押して下さい操作なしで 5 秒後に、装置はスクリーン自動的に消え、モードによって立場の入ります。

電源オフ：サイドボタンを4秒長押しして、画面をスライドさせるとスマートウォッチの電源がオフになります。

(4) 機能インターフェイス

サイドボタンを押して機能選択インターフェイスに入り、上下にスライドして操作したい機能を選択し、サイドボタンを押してメインインターフェイスに戻ります。



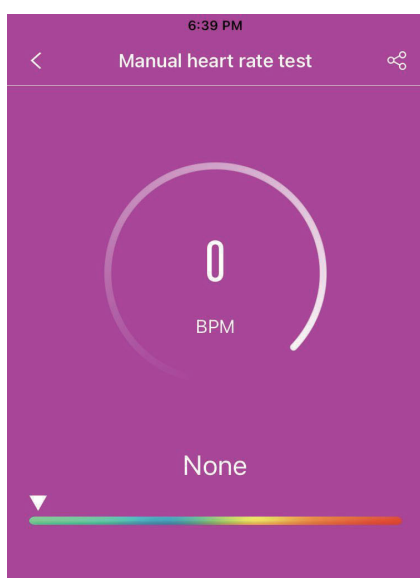
(5) 歩数、カロリー、マイル

歩数カウント画面に入り、現在の歩数、目標進捗、カロリー、その日の走行距離を表示します。画面は5秒後に消えます。加速度センサーが検知した歩数は、適正範囲内でわずかな誤差（10%以内）があります。

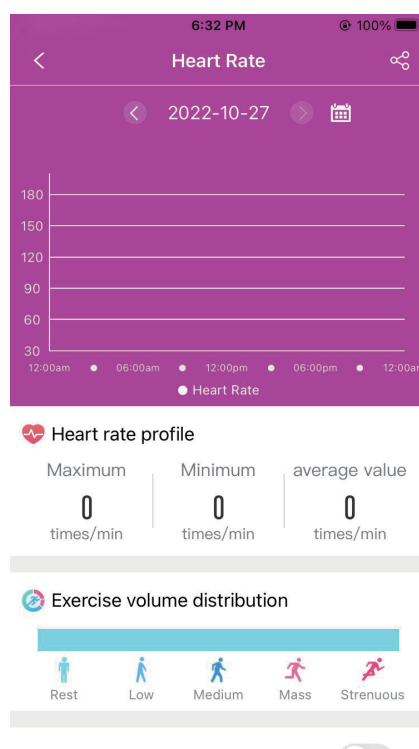


(6) 心拍数の手動検出と自動監視

デバイスのメインインターフェイスで右画面をスライドさせ、心拍検出インターフェイスに入り、 アイコンをクリックして検出を開始します。測定結果が出た後、リアルタイムの心拍値が継続的に測定され、表示されます。測定結果の有無にかかわらず、60秒間の累積テスト後、デバイスは自動的に画面を消灯し、スタンバイします。デバイスで測定した心拍数は保存されません。また、APPのデータパネル-Y25-その他の操作-心拍数アイコンで心拍数手動テストインターフェイスに入ることができ、APPで操作した心拍数テスト結果は保存されません。APP 側で心拍数自動検出スイッチをオンにすると、デバイスは自動的に 24 時間心拍数を監視し、10 分ごとにデータを収集し、30 分ごとにデータを表示します。データを同期した後、APPでテスト結果の詳細を確認することができます。



APPテストモード

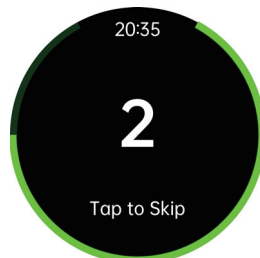


心拍データパネル

1. 時計を装着していれば、心拍数、歩数、カロリーを自動的に検知し、APPと同期します。
2. デフォルトは自動心拍監視機能で、30分ごとに心拍数を自動検知してOFFになります。APPで設定してください。マイデバイス-Y25-スイッチ設定-自動心拍数監視-回す
3. より正確に心拍数を測定するために、運動中はいつもよりきつめに装着してください。

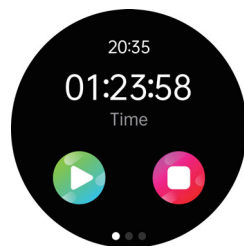
(7) スポーツモード

1. サイドボタンを短く押すと、機能選択インターフェースに入り、スポーツモードが選択できます。スポーツモードは全部で20種類あります。クリックして運動モードを選択すると、データページにランニングタイム、運動心拍数、ランニング距離、カロリー、歩数がリアルタイムで表示されます。



2 スポーツモードを終了する

画面を左にスワイプして、スマートウォッチのアイコンをタップすると、エクササイズの一時停止 / 継続と終了を選択できます



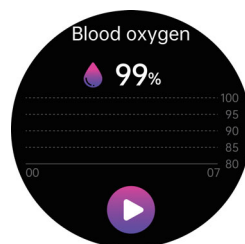
3. データ保存

運動時間が1分未満の場合、データの保存が正常に行われなかったことをユーザーに知らせます。



(8) 血中酸素

このページにスライドすると、自動的に現在の血中酸素の測定が開始され、結果が表示されます。



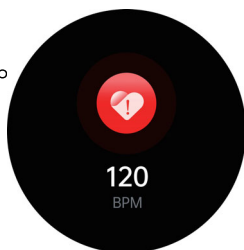
(9) 血圧

このページにスライドすると、自動的に測定結果のデータをプロンプトにした後、血圧測定、振動を入力し、APPの同期測定に接続することができますまたはタイマーの測定データを設定するために滞在する



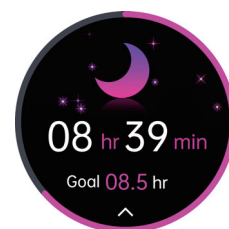
(10) 心拍数アラーム

時計は自動的に心拍数を検出します。データが警告数値以上になると、時計は自動的に警告を発します。心拍数の警告値の初期値は115ですが、状況に応じて再設定することができます。



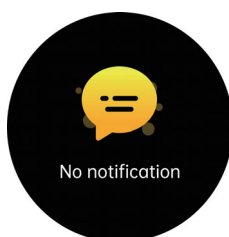
(11) スリープモニタリング

前日の総睡眠時間を表示する睡眠モニター画面へ移動します。この機能は自動的に実行されます。一般的に、起床後10～30分後にデータを知ることができます。



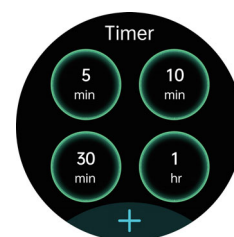
(12) 情報アラート

オープンAPP-設定-マイデバイス-メッセージリマインダー, リマインダー機能をオンまたはオフにします。メッセージを表示させたい場合は、対応するAPPで設定してください。



(13) カウントダウン

時計のキーを短時間押すと、タイマー機能が選択されます。時間を設定し、「スタート」を押すと、カウントダウンの時間が表示されます。カウントダウンが終了すると、振動してお知らせします。画面を右にスワイプすると、カウントダウンを終了します。



(14) 音楽

APPが時計に正常に接続された後、機能インターフェースの音楽オプションをクリックすると、スマートフォンの音楽が再生されます。



(15) 血糖テスト

画面を左に数回スライドさせ、このページにスライドして滞在し、自動的に血糖値測定を入力し、しばらく待ってから結果を表示します。また、APPを接続してリアルタイムで測定したり、終日時間指定の測定を設定することができます。測定結果はAPP上に表示されます。{マイデバイス-スイッチ設定-自動監視をオンにすることができます}に移動します。測定が正確でない場合、APPプライベートモードで採血値で校正することができます。



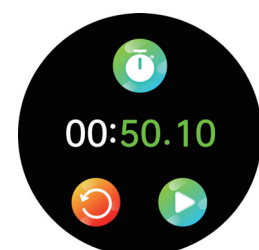
(16) 天気

現在の街の天気を表示します。この機能を正常に動作させるには、シンクアプリと接続する必要があります。携帯電話のGPSがオンになっていること、APPが位置情報の許可機能を利用できること、ネットワークに接続できることが必要です。



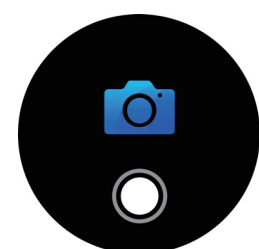
(17) ストップウォッチ

時計キーを短く押してストップウォッチ機能を選択し、タッチキーをタップして秒の実行を1回開始し、次に一時停止を押し、次に継続を押すなどして、画面を右にスライドさせて秒の実行を終了します。注意：ストップウォッチインターフェイスに入った後、デバイスは一時的に画面を占拠するために必要なすべてのリマインダーとプッシュ作業をブロックします。ストップウォッチの最大時間値は、99 分 59 秒です。



(18) スマートフォンカメラのリモートコントロール

時計を接続し、APPを開き、「Y25」-写真をクリックし、スマートフォンのカメラを開き、時計の機能オプションで写真を選択し、写真アイコンをクリックするか、シェイクして写真を撮影します。



(19) コールリマインダー

着信アラートを設定すると、誰かが電話をかけてきたときに時計が振動し続けます。タッチボタンを短く押すとミュート、タッチボタンを長押しすると着信拒否ができます。通話に応答する際に、時計が応答するか、電話が応答するかを設定できます。



(20) 女性の生理周期

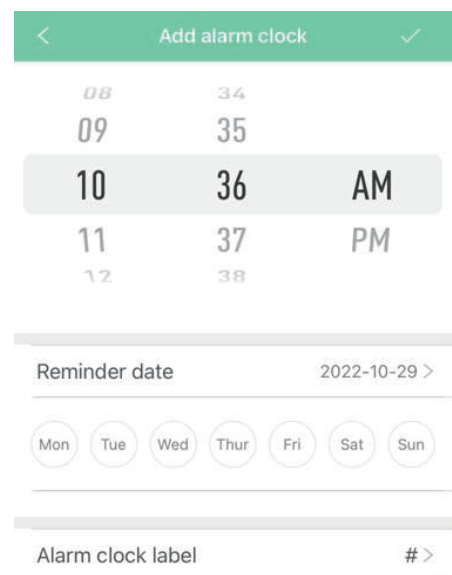
(20) 女性の生理周期

女性機能は、女性ユーザーのみ利用可能です。アプリユーザーの性別を女性に設定した場合のみ、女性機能オプションにデータが記録されます。現在、生理期間、妊娠準備期間、妊娠期間、ベビマ期間の記録に対応しています。それぞれの状況に応じて記録を選択し、クリックして基本情報を入力してください。



(21) アラームクロック

アプリ内では、右のアイコンを選択することで目覚まし時計を設定することができます。アラームの最大数は10個です。



目覚まし時計の検出

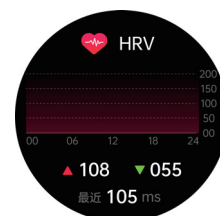
(22) 血糖値

このページにスライドすると、現在の血糖値測定が自動的に開始され、結果が表示されます。



(23) 心拍変動

HRV機能は夜間の午後0時から6時までモニターされる。



5. よくある質問

Q: アップグレード失敗の対処法は？

A: アップグレードに失敗した場合は、APPからデバイスを再接続すると、自動的にアップグレードのお知らせが表示されます。

Q: 心拍数（睡眠）検査はなぜダメなのですか？

A: まず、時計は電子センサーによって人の行動を監視するものです。消費者製品に一定の誤差があるのは正常なことです。客観的なデータとしてお取扱ってください。

Q: APPのアクセス権はどこで設定するのですか？

A: Android端末-設定-権利管理-「Hバンド」アプリを探す-設定-このソフトを信頼してください。

1. スマートフォンにセキュリティ管理アプリケーションやクリーニング高速化アプリケーションが搭載されている場合は、「H Band」をホワイトリスト（信頼リスト）に設定してください。

2. スマートフォンシステムの権利管理プログラムで、「H band」を信頼するアプリケーションとして設定してください。発信者番号通知などの機能を実現するためには、権利取得が必要です。

Q: 時刻表示モードの設定方法を教えてください。

A: 本機は、スマートフォンの時刻表示モードを同期させます。スマートフォンが12時間制に設定されている場合、本機も12時間制に表示されます。

Q: パスワードの再設定方法を教えてください。

A: APP 私の-Y25-パスワードの再設定,でパスワードを変更します。旧パスワードと新パスワードを入力し、ワンポイントで保存することができます。初期パスワードは「0000」です。再度デバイスを接続する際に、新しいパスワードを入力することでデバイスを接続することができます。パスワードを忘れた場合、腕時計のスリープインターフェイスで腕時計が振動するまで6秒間押し、パスワードをクリアすることができます。APP端末が再びデバイスを接続する時、直接接続することができる。再度設定する場合、旧パスワードは初期パスワードとなります。

6. 防水加工について

防水等級はIP68で、粉塵の吸入を防ぐことができます。短期間の浸水を防ぐ 活動領域で許可された活動シーンは次のとおりです。着用、雨の日の洗顔と手洗い

製品パラメータ

製品モデル	Y25
電池容量	230mAh
動作電圧	3.7V
データ通信	BT5.1
メインエンジン重量	30g
充電電圧	5V
充電電流	100mA
動作温度	-10° C=45C
防水グレード	IP68
勤務時間	6日間
動作周波数波	2402=2480MHZ
ディスプレイ	AOMLED

本機は医療機器ではありませんので、提供されるデータおよび情報は参考程度にお考えください

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement. The device can be used in portable exposure condition without restriction